

2023年11月20日  
川崎汽船株式会社  
石油資源開発株式会社  
日揮ホールディングス株式会社

### マレーシアにおけるCCS事業化の検討に係る基本契約をペトロナスと締結

石油資源開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 昌宏、以下「JAPEX」）、日揮ホールディングス株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役会長：佐藤 雅之、以下「日揮HD」）、および川崎汽船株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：明珍 幸一、以下「川崎汽船」）の3社（以下3社をあわせて「日本側3社」）は、マレーシア国営エネルギー会社 Petroliaam Nasional Berhad（以下「ペトロナス」）の子会社である PETRONAS CCS Ventures SDN BHD（以下「PCGSV」）と、マレーシアにおけるCCS（Carbon dioxide Capture and Storage：二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の回収・貯留）の事業化実現に向けた検討（以下「本検討」）の実施に合意し、4社による基本契約を2023年9月22日に締結しました。

日本で開催された調印式には、経済産業省資源エネルギー庁佐伯 CCS 政策室長の立会いのもと、ペトロナス社長兼グループCEOのYM Tan Sri Tengku M Taufik、JAPEX 代表取締役社長の藤田昌宏、日揮HD 常務執行役員秋鹿正敬、川崎汽船常務執行役員の金森聡が出席しました。関係先より公表の合意を得て、本日の発表に至りました。

2022年1月にペトロナスとJAPEXにより開始し、同年7月の日揮HD子会社である日揮グローバル株式会社と川崎汽船の参加（注1）後は4社で進めてきたマレーシアCCS共同スタディにおける、CO<sub>2</sub>地下貯留能力、CO<sub>2</sub>排出源からの海上輸送ならびに圧入方法などの調査を踏まえ、同国の海域において特定された枯渇油ガス田群および付帯する塩水帯水層を貯留対象とすることが、CO<sub>2</sub>圧入の実効性、早期の事業実現可能性を極大化すると判断したことから、本検討の実施に合意したものです。

本検討では、今後、2024年の基本設計作業開始とその後の建設作業を視野に入れた具体的な準備作業に着手し、マレーシア国内で排出されるCO<sub>2</sub>に加え、日本など海外で回収されたCO<sub>2</sub>を船舶輸送し、海底下への圧入・貯留を2028年末に開始することを目指し、マレーシア国内のCO<sub>2</sub>を収集する陸上設備からのCO<sub>2</sub>輸送パイプラインの敷設、船舶輸送される液化CO<sub>2</sub>の受入設備、ならびに海洋圧入設備など、必要な設備の仕様や費用の積算、事業スキームなどの詳細な検討を進めていきます。また、本CCS事業実現に向けて、PCGSV並びに日本側3社は、マレーシアの関係先と緊密に連携していきます。

PCGSVおよび日本側3社は、2020年代中盤の事業化決定と2028年末の操業開始を目指し、本検討を進めていく予定です。なお、本検討で目指すCO<sub>2</sub>圧入量は、事業開始時点でマレーシア国内および日本を含む同国外からの輸送分を合わせ年間約200万トン以上、2030年には同約500万トンを目指し、さらに2030年代前半には同1,000万t以上への圧入量拡大も視野に入れていきます。

また、日本側 3 社は、JFE スチール株式会社と本年 6 月から進めている、日本を起点とした CCS のバリューチェーン構築の共同検討（注 2）を引き続き進めることにより、本検討との連携を図ります。

JAPEX、日揮 HD、および川崎汽船は、早期の CCS 事業実現に向けた本検討の推進を通じ、「アジア・エネルギー・トランジション・イニシアティブ（Asia Energy Transition Initiative : AETI（エイティ））（注 3）」が目指すアジア地域の脱炭素社会の実現へ貢献してまいります。

（注 1） 2022 年 7 月 29 日公表：「マレーシアにおける CCS 共同スタディへ新たに日揮グローバルと川崎汽船が参加」

<https://www.kline.co.jp/ja/news/carbon-neutral/carbon-neutral-6180135138639739540/main/0/link/220729JA.pdf>

（注 2） 2023 年 6 月 19 日公表：「マレーシア CCS 共同スタディと連携した日本起点の CCS バリューチェーン構築共同検討実施に JFE スチールと合意」

<https://www.kline.co.jp/ja/news/carbon-neutral/carbon-neutral-3710599114201927936/main/0/link/230619JA.pdf>

（注 3） 2021 年 5 月に日本政府が発表した、アジアの持続的な経済成長とカーボンニュートラルの同時達成に向けたイニシアティブ。

（参考写真）基本契約セレモニーの様子



（上記写真中の本発表関連登壇者氏名、左端から）

ペトロナス	Mr. Shamsairi M Ibrahim - VP LNG Marketing & Trading Gas Business
ペトロナス	Mr. Ezran Mahadzir - Chief Executive Officer Petronas LNG Ltd.
JAPEX	海外 CN 事業推進部長 鈴木健一
ペトロナス	Ms. Nora' in Bt Md Salleh - General Manager CCS
ペトロナス	Mr. Adnan Zainal Abidin - COO, EVP & CEO Gas Business

日揮 HD	常務執行役員 秋鹿正敬
ペトロナス	Datuk Adif bin Zulkifli - EVP Upstream
JAPEX	海外事業第二本部長 山田知己
JAPEX	代表取締役社長 藤田昌弘
ペトロナス	Mr. Emry Hisham bin Yusoff - Senior GM Carbon Management Div.
ペトロナス	YM Tan Sri Tengku M Taufik - President & Group CEO
経済産業省	資源エネルギー庁 資源・燃料部 CCS 政策室長 佐伯徳彦
JAPEX	取締役会長 渡辺修
ペトロナス	Mr. Ezhar Yazid Jaafar - Senior GM Petronas Representative Office Japan
川崎汽船	常務執行役員 金森聡
ペトロナス	Mr. Abang Yusuf Abang Puteh - SVP LNG Assets, Gas Business
ペトロナス	Mr. Nazil Ghazali - Executive Asst. President & Group CEO